

加盟高等学校長様
テニス部顧問様

京都府高等学校体育連盟テニス部
部長 関目 六左衛門
専門委員長 脇田 一郎
(公印省略)

令和3年度テニス部総会の決定について [通知]

京都府高等学校体育連盟テニス部は、下記の通り、令和3年度総会を開催いたしましたので、その議決の内容を報告いたします。

記

日時 : 令和3年3月6日(土)午後3時より
会場 : 洛星高等学校
出席校 : 36校 下記の通り(順不同)
山城・鴨沂・洛北・北稜・桂・洛西・桃山・向陽・乙訓・西乙訓・東宇治・菟道・京都八幡・久御山・南陽・園部・京都工学院・西京・堀川・紫野・洛星・京都橘・同志社女子・平安女学院・京都両洋・同志社・東山・大谷・華頂女子・京都外大西・京都成章・京都西山・京都学園・立命館宇治・同志社国際・立命館
委任校 : 20校 下記の通り(順不同)
洛東・鳥羽・東稜・京都すばる・城南菱創・亀岡・農芸・日吉ヶ丘・塔南・京都明德・ノートルダム女学院・京都女子・花園・京教大附属・綾部・西舞鶴・峰山・京都共栄・京都暁星・京都精華学園
欠席校 : 2校 下記の通り(順不同)
洛南・京都廣学館

議事記録 :

開会宣言

専門委員長挨拶 脇田 一郎(府立北稜高等学校教諭)

議事進行者選出 並河 竜太(府立京都八幡高等学校教諭)

議事

1. 令和2年度事業報告に関する件(総会資料 p②⑨)
■総会資料の通り報告 (承認されました)
2. 令和2年度決算報告に関する件(総会資料 p④⑤⑨⑩)
■総会資料の通り報告
・大会参加本数の減少によるエントリー費収入が大きく減少した。支出減と収入増を検討する必要がある。(承認されました)
3. 令和3年度試合日程に関する件(総会資料 p③⑧⑨⑬～⑰)
■総会資料の通り提案 (承認されました)
4. 令和3年度事業計画に関する件(総会資料 p③⑨⑬～⑰)
■総会資料の通り提案
・IH生徒代表者会議の実施方法についての詳細は4月の顧問会議で連絡する予定
(承認されました)

5. 令和2年度の総括・来年度に向けて（総会資料 p⑧⑩～⑭）

☆来年度も近畿大会予選と全日本ジュニアの日程がバッティングしているが、全日本ジュニア出場選手にはシングルス、ダブルスともに近畿大会予選を免除し、本大会出場権を与える。

☆ブリヂストンのテニス事業からの撤退により、近畿大会の使用球がヨネックスのツアープラチナムに変更になったため、近畿大会京都府予選も上部大会に合わせた使用球となる。

☆IH出場本数は、男子S4, D2、女子S3, D2の予定（仮）である。

☆大会出場の際の顧問引率の義務化に伴い、『規約・規定』および『エントリーに関する規定』の一部を変更し、個人戦1次予選とその予備日も自校生徒が出場していれば必ずどこかの会場の競技役員に任につくものとする。〈承認されました〉

・1次予選の競技役員を自校の生徒がいる会場に割り当ててほしいという要望があった。来年度は希望する学校に対して可能な限り対応する方向で検討する。希望する学校は顧問会議に出席し、ドロー完成後に自校の生徒がいるブロックをすべて調べて報告する。ただし、自校生徒がいる会場に割り当てられるだけで、会場を指定することはできない。

☆参加本数減少に伴う専門部財政の収入アップに向けて、IH予選団体戦の参加料として5,300円を徴収する。〈承認されました〉

☆参加本数減少に伴う専門部財政の支出ダウンに向けて、役員従事に対する「消耗品対応」を、生徒が出場していない場合の役員従事に限定する。〈承認されました〉

☆新型コロナウイルス感染症の状況に応じて、感染症対策を緩和していく。大会使用コートの面数分の消毒液の準備は整っており、スコアボードやベンチの使用については認めていく方向で検討する。試合の観戦や応援については密になることも考えると現状では難しい。また、試合方法のスケールダウンについても検討の必要がある。今後、常任委員会で原案を作成し、顧問会議等で発表する。

☆新型コロナウイルス感染症対策のため公立校大会の丹波会場へのバス代が予想以上にかさみ（密を避けるために定員の半数程度でバスを運行したため）、役員従事による消耗品対応を凍結したが公立校大会会計が赤字となった。黒字化するために、団体戦の参加料を10,500円に、個人戦の参加料を2,000円に値上げし（他の高体連主催大会と同額）、バス代を当面3,000円とする。ただし、バス代に関しては、乗車人数を定員の100%程度にまで戻せる状況になれば値下げすることも視野に入れる。

〈承認されました〉

6. 令和2年度予算に関する件（総会資料 p⑥⑦⑨⑩）

■総会資料の通り提案

〈承認されました〉

7. その他（総会資料 p⑭⑮）

☆常任委員会やエントリー会議の開始時間が遅いことを京都府高体連事務局より問題視されていたため、派遣依頼文書の開始時間を17時とするが、実際には18時から会議を始めることになる。また、顧問会議も平日の勤務時間内の開始を求められているが、現状では難しいため土曜日の15時からの開始とする。しかし、いずれは平日開催の時期がくることを視野に入れておかなければならない。

☆IH予選に出場する有望な新1年生について、昨年は大会少なかったため、一昨年の戦績も含めて申請をお願いしたい。アップグレードを検討し、シード案を作成する際の資料とする。
(総会資料には記載なし)

☆全国常任委員会から全国選抜の改革案が出されている。内容は部員数に伴う登録人数の変更で、現行の7～9名から4～9名への変更であるが、様々な問題をはらんでおり、京都府としては反対の立場をとる。

☆近畿大会予選と全日本ジュニアの日程のバッティングについて、該当選手が出た場合、シードの繰り上げが生じ、1次予選ブロックからブロックシード選手が抜けてしまう。その際にブロックシードの選手も各校No.1選手もいないブロックができてしまう可能性があるが、仕方がないと考える。(案①)

☆ 常任委員改選結果（敬称略）

脇田一郎	(北稜)
山内正人	(山城)
岸菜摘	(洛西)
森將之	(久御山)
西岡瞳	(同志社)
永井靖人	(南陽)
伴利比古	(洛北)
平岡隆一	(同志社女子)
佐々田尚志	(京都両洋)
筒井祐太	(向陽)

以上10名

閉会宣言